

未然に防ごう、電気火災

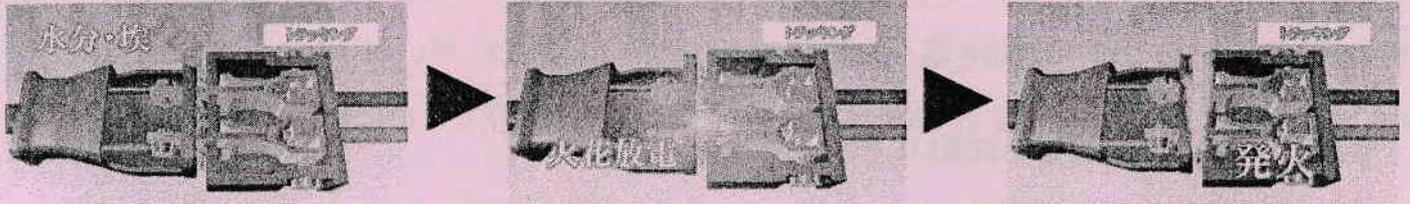


梅雨の季節は湿気が多く、扇風機やエアコンなどの電化製品の使用が増える時期でもあります。
コンセントやプラグ等の周りを綺麗に保ち、火災が起きないように注意しましょう。

●コンセントやプラグから出火？！

コンセントやプラグは、水分やほこりなどが付着してトラッキング現象※が起きて、火災が発生する場合があります。

※ トラッキング現象



1. 隙間に水分やほこりがあると...

2. 火花放電が発生。新たな電気の通路(トラック)ができます。

3. 樹脂部が徐々に炭化して電気が流れ出し発火！

こんな火災がありました！

(たこ足配線+トラッキング現象)

コンセントにテーブルタップのプラグを差し込み、いくつかの電気機器の電源を取って使用していたところ、コンセントに差したプラグ部分でトラッキング現象が生じ、出火しました。

プラグ部分は家具の後ろにあり、数年前から抜き差しすることなくほこりがたまっていました。



※ 画像はイメージです。

思い当たる節はありませんか？



【防ぐためのポイント】

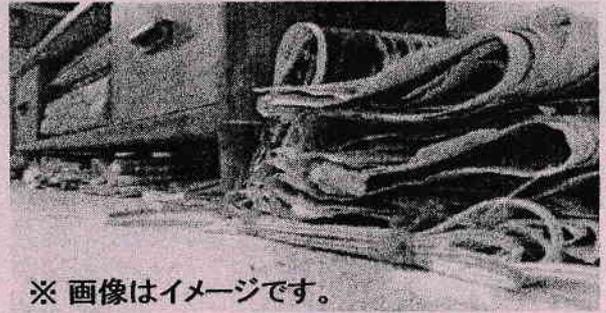
- コンセントやプラグ周辺は、ほこりがたまらないように定期的に清掃を行い、コンセントとプラグの間に緩みがないか確認しましょう。
- プラグを抜き差しする際は、コードではなくプラグ本体を持ちましょう。
- 使用していない器具は、コンセントから外しておきましょう。
- たこ足配線をしないようにしましょう。
- テーブルタップを使用する際は、許容電流を守りましょう。
(テーブルタップには使用できる定格容量の定めがあり、この定格容量を超えて使用すると発熱、発火の危険があります。定格容量は本体の裏面や側面に表示されています。)

●電気コードの短路(ショート)によって出火!

傷ついたコードを使用したり、束ねた状態や重い荷物が載った状態であると、その部分に負荷がかかり、断線して出火する可能性があります。

こんな火災がありました!

テーブルタップのコードが必要以上に長く、綺麗にまとめておきたいため、束ねて使用していました。すると、束ねていたコード部分が熱を持ち、被覆が溶けてショートし、出火しました。



※ 画像はイメージです。

思い当たる節はありませんか?

【防ぐためのポイント】

- コードは束ねないようにしましょう。
- 家具等でコードを踏まないようにして下さい。
- コードの位置を点検しましょう。
- コードを釘等で固定することは絶対に辞めましょう。



お願い

身近な電気器具もその使用方法を誤ったり、使用する環境によっては、思いがけない火災を引き起こし、尊い命を奪ってしまいます。
電気エネルギーを上手に使用するためにも、そして電気器具火災を防ぐためにも、電気器具の日々の点検や正しい使用方法の推進をお願いします。

楽しい夏を過ごすために熱中症を予防しよう!

毎年6月から9月にかけて、熱中症によって救急搬送される方が大変多くなっています。熱中症は適切な予防法を知っていれば防ぐことができます。今回は、楽しい夏を過ごすために、熱中症の予防法を紹介します。

熱中症とは?

熱中症とは、気温や室温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体の倦怠感、ひどい時には痙攣や意識の異常など、様々な症状を起こす病気です。

家の中でじっとしていても室温や温度が高いために、熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

予防のポイント!

- (1) 暑さを避けましょう。
 - ・行動の工夫(適宜休憩する、日陰を歩くなど)
 - ・住まいの工夫(空調設備の利用、風通しをよくするなど)
 - ・衣服の工夫(吸汗、速乾素材の物を活用する、ゆったりした衣服を着るなど)
- (2) こまめに水分を補給しましょう。
- (3) 急に暑くなる日に注意しましょう。
- (4) 暑さに備えた体作りをしましょう。
- (5) 集団活動の場ではお互いに配慮しましょう。



熱中症を予防して、
楽しい夏を過ごしま
しょう!



 火の用心通信7月号へ続く...

金沢消防署のホームページで「かわら版」「火の用心通信」を見ることができます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/18syosyo/kanazawa/kanazawa-inf.html>

